

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第126号	氏名	中山聖子
学位審査委員	主査 伊藤 敬 副査 江口 勝美 副査 澄川 耕二		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、特発性間質性肺炎のうち、特発性肺線維症（IPF）と、非特異的間質性肺炎（NSIP）の病態の違いを解明しようとするもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 外科的肺生検による組織診断に基づいて診断した、17名のIPF患者、10名のNSIP患者、12名の健常人を対象とした。IPF患者、NSIP患者、健常人の血清および気管支肺胞洗浄液によりENA-78とIP10濃度を解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、IPF患者とNSIP患者において、血清中および気管支肺胞洗浄液中のENA-78濃度、IP10濃度の差異を明らかにした。これらの結果は、今後の間質性肺炎研究進展への寄与が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は特発性間質性肺炎病態研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			